

第2次 基山町食育推進基本計画（概要版）

計画期間 令和6年度～令和12年度



重点課題に係る目標設定の考え方

子どもの基本的な生活習慣の形成

共働き世帯や核家族世帯の増加による生活環境の変化から、子どもの生活リズムへの影響が見られます。

健康寿命の延伸につながる食育の推進

年に一度は職場や地域での健康診断を受診し、自分の健康状態を確認することが大切です。

地産地消の推進

保育所や学校の給食などで地域の食材を使用、生産者への感謝の気持ちを持つことが大切です。

和食文化や郷土料理の保護・継承

郷土料理、行事食、家庭料理や食事の作法等を受け継いでいくことが大切です。

新たな日常に合わせた食育の推進

働き方や暮らし方の変化により、生活習慣や食生活を見直す必要があります。

取組の基本方針及び目標

1. 生涯を通じた健康づくりを支える食育の推進

- ・ライフステージに応じた町民への働きかけ
- ・生活習慣病の予防や健康寿命の延伸
- ・歯の健康を保つなどの健康づくり



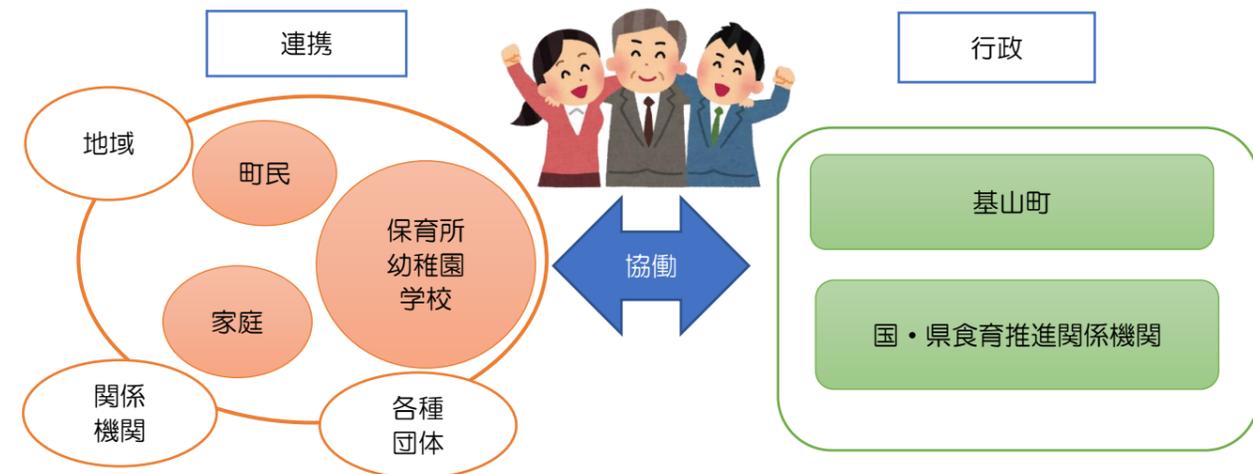
2. 持続可能な食を支える食育の推進

- ・食と環境の調和
- ・地産地消の取組
- ・食文化の理解と伝承
- ・食に関するマナーを身につける



3. 多様な団体との連携・協働による食育推進

- ・協働による食育の推進



第2次基山町食育推進基本計画 目標指標

目標項目	対象	計画策定時 (R6基準値)	目標値 (R12)
低出生体重児が生まれる割合	妊娠期	6.4%	5.0%以下
毎日朝食を食べる子の割合	1歳6か月児	98.4%	100.0%
	3歳児	98.8%	
	5歳児	88.6%	
夜9時までに寝る子の割合	1歳6か月児	42.4%	50.0%以上
	3歳児	28.3%	
	5歳児	20.5%	
おやつを決めている子の割合	1歳6か月児	67.2%	80.0%以上
	3歳児	56.6%	70.0%以上
排便が毎日ある子の割合	1歳6か月児	72.8%	80.0%以上
	3歳児	51.6%	60.0%以上
子どもの肥満の割合	1歳6か月児	12.0%	減少
	3歳児	5.0%	
	5歳児	6.5%	
学校給食の基山町産食材の利用割合	学校給食	20.0%	増加
減農薬農作物の学校給食への利用回数	学校給食	2回	12回
毎日朝食を食べる児童生徒の割合	小学生	83.2%	100.0%
	中学生	83.8%	
排便が毎日ある児童生徒の割合	小学生	58.0%	60.0%以上
	中学生	67.2%	70.0%以上
児童生徒の肥満の割合	小学生	10.8%	減少
	中学生	17.5%	
特定健診実施率		53.6%	60.0%以上
メタボ該当者・予備群の割合	特定健診対象者	32.8%	30.8%以下
血糖異常者（HbA1c6.5%以上）の割合		12.6%	10.6%以下
「歯（し）あわせ健診」の受診率	後期高齢者	27.1%	増加
70歳75歳介護予防健診の受診率		43.2%	増加
1日3食きちんと食べている人の割合		95.8%	100.0%
口腔機能を維持できている人の割合		61.9%	70.0%以上